

～はじめにお読みください～

地域福祉の評価は、「地域包括ケアシステムにおける生活支援部分」や、「地域における共生社会づくり」をしっかりと進めていこうという取り組みです。

したがって、個々の詳細な事業評価以前に、総論として何をしようとしているのかを理解する必要があります。（資料1 前段）

また、これを踏まえたうえで、平成26年度の取り組みの大きな概要について一旦理解していただき（資料1 後段）、そのうえで、細部の確認を行っていただきたいと考えております。

したがって、まず、資料1をご確認ください。

次に「取り組み評価一覧表」（A3版 資料2）の確認を行っていただきます。

一覧表の見方は次のとおりです。

表の左から「実施結果の分析と今後の対策」までが、事務局（市と社協）が実績として記入する部分です。

「評価コメント」「評価点」は上記を勘案し、委員会が記入する部分ですが、叩き台として、案を事務局で記載しています。委員会当日は、この部分をご議論いただきます。

平成26年度の主な活動内容	平成26年度に、実際に取り組んだ活動の内容を書いています。
目標・指標	①計画上、数値目標が設定されているものには、目標値、実績値、達成度（目標値／実績値）を示しています。 ②計画上、年次計画が示されているものには、年次計画と、実績を示しています。 ③計画上、目標、年次計画が示されていないものには、活動内容に関する参考データを示しています。
実施結果の分析と今後の対策	活動内容や目標の達成度を分析した結果と、それに対する今後の対策について、実施者として、整理を行っています。
達成度平均値	その事業の数値目標達成度の平均値を示しています。数値目標が設定されていない事業には表記していません。

評価コメント	活動実績や実施者としての自己分析、今後の対策を踏まえた上で、委員会として必要な取組みや指摘、実施者に求めることなどについてコメントします。
評価点	「達成度平均値」と「評価コメント」の内容から、1～5の点数を付けていただくものです（評価基準は下記のとおり）。

【事業ごとの評価点について】

- 5 目標達成できている（数値目標 90%以上）、かつ大きな成果を伴う特筆すべき点がある
- 4 目標達成できている（数値目標 90%以上）、かつ評価すべき点がある
- 3 目標達成できている（数値目標 90%以上）、あるいは目標達成できていないが合理的理由がある、又は評価すべき点がある
- 2 目標達成できていない（数値目標 90%未満）、あるいは目標達成できているが改善すべき点がある
- 1 目標達成できていない（数値目標 90%未満）、かつ重大な改善すべき点がある

総合評価	大項目（「個別支援」「小地域支援」「地域福祉活動」「その他の取組み」）ごとに、A～Dで評価するものです（評価基準は下記のとおりで、計算により自動的に算出されます）。
------	--

【総合評価について】

- A 目標達成できており、かつ特筆すべき点がある
（事業ごとの評価点の平均が、3.5 以上）
- B 目標達成できている
（事業ごとの評価点の平均が、3.0 以上 3.5 未満）
- C 目標達成できている事業もあるが、改善すべき点がある
（事業ごとの評価点の平均が、2.5 以上 3.0 未満）
- D 改善する必要がある
（事業ごとの評価点の平均が、2.5 未満）

叩き台として、事務局（市）が記入した評価コメント（案）、評価点（案）は次のような考え方に基づいて作成しています。

【個別支援】

事業名：話し相手ボランティア	評価点：2
(評価コメント) ○目標達成できてないことに加え、全体に対する充足度が低い。本事業に対する意識が希薄なのではないか。	
(評価根拠) ★目標達成していないので、評価点は2 ★新規依頼者数は目標達成しているが、累計が減少している。つまり、減少分が補えていない。 ★ボランティア数の推移を見ても、減少に一向に歯止めがかからない。 ★地域における孤立を防止する事業として意義ある事業との位置づけが理解されているのが疑問視されてもおかしくない実績であるため、意識問題に言及したコメントとした。	
事業名：佐世保市福祉資金貸付事業	評価点：3
(評価コメント) ○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠) ★数値目標設定がなく、合理性のある実績数値の変化も見られないため、評価点は3 ★大きなプラス面・マイナス面も無いため、コメントは「継続」	
事業名：佐世保市福祉資金貸付事業	評価点：3
(評価コメント) ○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠) ★数値目標設定がなく、合理性のある実績数値の変化も見られないため、評価点は3 ★大きなプラス面・マイナス面も無いため、コメントは「継続」	
事業名：生活困窮者自立支援事業	評価点：4
(評価コメント) ○社協の本分である要支援者への直接支援を新たに実施する重要な一步を踏み出した。	
(評価根拠) ★数値目標設定を大きく上回り、かつ、実際の対応実績に目覚ましいものがあるため、評価点は4 ★資料1(1)のとおり、意義ある取り組みとなっているためコメントにもその趣旨を記載	

事業名：日常生活自立支援事業	評価点：2
(評価コメント) ○すべての人に、必要なサービスが提供できているか。利用者、支援者双方の拡大が必要	
(評価根拠) ★目標達成していないので、評価点は2 ★利用者数が県平均を下回るため、コメントにもその趣旨を記載	
事業名：高齢者あんしんセンター事業	評価点：3
(評価コメント) ○成年後見移行により、段階的に取り組むこと	
(評価根拠) ★目標達成しているため、評価点は3 ★日常生活自立支援事業（契約行為による金銭管理等）や成年後見（民法に基づく権利代執行）に比べ、法的根拠が希薄な事業（民法の事務管理）であり、やむを得ない場合に実施する性質のものであるため、コメントにその趣旨を記載	
事業名：成年後見制度の推進	評価点：2
(評価コメント) ○受任以前に申し立てが少ないと想定される。制度の一般化について、努力していただきたい。	
(評価根拠) ★目標達成していないので、評価点は2 ★後見人を選定するのは裁判所であるため、受任数をコントロールすることは難しいのはわかるが、あんしんセンターからの移行（申し立て）自体ができていない様子なので、あんしんセンター以外の対象者を含め、数多く本制度が利用されるよう（制度が一般化されるよう）、コメントにその趣旨を記載	
事業名：生活支援に係るケースマネジメント事業	評価点：4
(評価コメント) ○特に医療・介護関係機関との関係を密にして、より一層の要支援者支援に取り組んでいただきたい。	
(評価根拠) ★数値目標設定はしていないが、生活困窮者自立支援事業と同様の考えで、評価点は4 ★特に、地域包括ケアシステムの一環を占める取組（生活支援）であることに鑑み、医療・介護との連携に言及し、この視点をもった実践を要望	
事業名：民生委員・児童委員支援	評価点：3
(評価コメント) ○民生委員・児童委員の活動は、要支援者に対するケース支援の最前線であり、かつ最も	

<p>基礎的な単位として、全市民を包含した範囲で実施されるものである。社会福祉の専門機関として、社協はこれらの活動の支柱となるよう、その専門性の強化と意欲的な支援を実施すること。</p>	
<p>(評価根拠)</p> <p>★数値目標設定はしていないが、ケース援助に係る相談が出てきたことを評価して、評価点は3</p> <p>★個別ケースの支援は、社協職員だけでは全市をカバーすることは不可能であり、また、その役割を持つのは、法的には民生委員であるため、双方良好な関係を保つと同時に、入れ替わりのある民生委員を、専門機関である社協が支えられるようになることが大変重要となるため、コメントにその趣旨を記載。</p>	
事業名：緊急時連絡カード配布事業	評価点：3
<p>(評価コメント)</p> <p>○今後の対策のとおり実践されたい。</p>	
<p>(評価根拠)</p> <p>★数値目標設定はしていないが、通年どおりの取組であるため、評価点は3</p> <p>★初年度は、全関係施設に配布し、翌年度からは、消費分の補給としているため、徐々に保有者が拡大し、かつ広報手段を拡充しようとしているという分析等に鑑み、これを行うようコメント</p>	
事業名：救急医療情報キット実施事業	評価点：3
<p>(評価コメント)</p> <p>○今後の対策のとおり実践されたい。</p>	
<p>(評価根拠)</p> <p>★数値目標設定はしていないが、通年どおりの取組であるため、評価点は3</p> <p>★初年度は、全関係施設に配布し、翌年度からは、消費分の補給としているため、徐々に保有者が拡大し、かつ広報手段を拡充しようとしているという分析等に鑑み、これを行うようコメント</p>	

【小地域支援】

事業名：食事サービス支援	評価点：2
<p>(評価コメント)</p> <p>○食事に限らず、地域に支え合いを目的としたボランティアグループを育成していくことは急務。</p> <p>○着実にボランティアグループ等が育成される仕組みについて十分な検討をすること。</p>	
<p>(評価根拠)</p> <p>★目標達成していないので、評価点は2</p>	

★依頼者数、ボランティア数累計の減は、食事サービスグループの減少が主な原因であると考えられるため、ボランティアグループの育成が事業の活性化につながると分析し、コメントにその趣旨を記載	
事業名：ふれあい援護ネットワーク（仮称）の推進	評価点：2
（評価コメント） ○出遅れたが、実効性のある仕組みとなるようしっかりと取り組んでいただきたい。	
（評価根拠） ★数値目標設定はないが、年次計画に記載している内容に遅れが出るため、評価点は2 ★システム導入前に運用面を整備することとなったが、実効性のある制度を構築することが重要であり、コメントにその趣旨を記載	
事業名：ふれあいいきいきサロンの支援・推進	評価点：3
（評価コメント） ○同様の内容での継続が適当	
（評価根拠） ★目標達成しているため、評価点は3 ★サロン数累計も増となっているが、同規模自治体である佐賀市と比較すると、絶対数が依然として少なく、継続して新規サロン立ち上げに努めることが重要であるため、コメントは「継続」	
事業名：地域共生サロン（地域の居場所）づくり	評価点：3
（評価コメント） ○平成27年度で確実な実施を	
（評価根拠） ★平成27年度のモデル事業実施に向けて、制度設計が行われており、評価点は3 ★今年度の目標である2カ所でのモデル実施に向け、着実に事業を進めるよう、コメントにその趣旨を記載	

【地域福祉活動】

事業名：地区福祉推進協議会活動支援事業	評価点：2
（評価コメント） ○福推協の現状と計画はマッチしているのか。実態のある取組みがなされるよう、実質的なアプローチを。	
（評価根拠） ★数値目標設定はないが、計画に記載している6つの取組み（「自立支援・小地域組織化活動の状況の把握と推進」「買い物・ごみ捨て等日常生活支援」「ひきこもり・認知症・虐待など福祉課題の現状認識と意識醸成」「子ども・子育て等に関する支援事例の把握・	

<p>紹介」「住民福祉ニーズの抽出と主体的解決」「災害に備えた体制整備」の推進について、社協として具体的な支援を行ったとは言い難いため、評価点は2</p> <p>★今後、地域福祉を進めていくうえで福推協の活動は不可欠であり、市域全体で実態のある取組みが実施できる体制づくりを目指して、会長連絡会や研修会の実施に留まらず、地区ごとの現状・課題の把握等を行い、具体的な取組みの支援に繋げるよう、コメントにて要望</p>	
事業名：地域活性化モデル事業	評価点：4
<p>(評価コメント)</p> <p>○同様の内容での継続が適当</p>	
<p>(評価根拠)</p> <p>★目標達成しており、かつモデル地区として評価に値する実績が見て取れるため、評価点は4</p> <p>★住民主体の実践組織の発展や介護予防の取組み等、今後さらに進歩することが期待されるため、コメントは「継続」</p>	

【その他の取組み】

事業名：地域福祉の一環としての福祉活動拠点の整備	評価点：3
<p>(評価コメント)</p> <p>○同様の内容での継続が適当</p>	
<p>(評価根拠)</p> <p>★数値目標設定はなく、市からの委託事業も適切に実施しているため、評価点は3</p> <p>★当施設の役割である福祉系団体の自立支援に向け、分析内容を自覚しつつ、同様の取組みが望まれるため、コメントは「継続」</p>	
事業名：地域福祉を総合的に推進するための拠点施設の整備	評価点：2
<p>(評価コメント)</p> <p>○利用者の利便性（バリアフリー化等）も考え、可能な範囲で早期に実現すべき。</p>	
<p>(評価根拠)</p> <p>★数値目標設定はないが、結果として進捗が見られないため、評価点は2</p> <p>★課題は多いと思われるが、地域福祉活動の拠点として必要であるため、コメントにその趣旨を記載</p>	
事業名：社会資源情報の収集整備	評価点：3
<p>(評価コメント)</p> <p>○同様の内容での継続が適当</p>	
<p>(評価根拠)</p> <p>★年次計画のとおり事業が進められているため、評価点は3</p>	

★適切に実施できているため、コメントは「継続」	
事業名：災害時要援護者・平常時要支援者の一元的データ管理	評価点：2
(評価コメント)	
○関係機関への説明をしっかりと行ったうえで、進めていくべき	
(評価根拠)	
★数値目標設定はないが、年次計画に記載している内容よりに遅れが出るため、評価点は2	
★システム導入前に運用面を整備することとなったが、実効性のある制度を構築することと、その制度の周知を徹底することが重要であるため、コメントにその趣旨を記載	
事業名：計画推進の成果の評価等	評価点：－
(評価コメント)	
－	
(評価根拠)	
★平成26年度は、事業実施計画はないため、評価対象外	
事業名：ボランティアセンター運営	評価点：2
(評価コメント)	
○ボランティアによる支援を受けられる、ということはあまり知られていないのでは。	
○周知の強化を	
(評価根拠)	
★目標達成はしているが、依頼者数が平成23年度から比較すると大幅に減っているにも関わらず、周知のための特段の対策も見られないため、評価点は2	
★ボランティアを必要としている方に情報が届くような仕組みを構築することが重要であるため、コメントにその趣旨を記載	
事業名：ボランティア活動支援	評価点：1
(評価コメント)	
○特段の理由が内にもかかわらず、実施できていない。	
○事業の内容というよりも実施体制の見直しを	
(評価根拠)	
★目標達成しておらず、実施すべきであった講座を、特段の理由もなく実施していないため、評価点は1	
★理由もなく実施していないということは、事業を軽視していたということも考えられ、かつ、組織としてその部分をフォローできていないということであり、実施体制を見直す必要があるため、コメントにその趣旨を記載	
事業名：福祉人材バンク	評価点：3
(評価コメント)	

○今後の対策のとおり実践されたい。	
(評価根拠)	
★目標達成しているため、評価点は3	
★事業を実施した結果が、福祉・介護分野における人材の安定的な確保に繋がっている とは言い難いため、今後の対策として求人側と求職側のニーズを把握し、ミスマッチ を是正しようとしていることから、これを行うようコメント	
事業名：災害時避難行動要支援者避難支援計画	評価点：2
(評価コメント)	
○関係機関への説明をしっかりと行ったうえで、進めていくべき	
(評価根拠)	
★数値目標設定はないが、当初の予定よりも遅れが出たため、評価点は2	
★システム導入前に運用面を整備することとなったが、実効性のある制度を構築すること と、その制度の周知を徹底することが重要であるため、コメントにその趣旨を記載	
事業名：福祉避難所	評価点：3
(評価コメント)	
○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠)	
★数値目標設定はしていないが、福祉避難所開設訓練を実施しており、評価点は3	
★適正に実施できており、コメントは「継続」	
事業名：災害ボランティアセンター	評価点：3
(評価コメント)	
○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠)	
★目標達成しているため、評価点は3	
★適正に実施できており、コメントは「継続」	
事業名：災害ボランティアネットワーク連絡協議会	評価点：2
(評価コメント)	
○同様の内容での継続が適当	
(評価根拠)	
★目標達成できていないため、評価点は2	
★定期会議の実施回数は目標値に達していないものの、活動内容は妥当であるため、コ メントとしては「継続」	
事業名：出前講座	評価点：3
(評価コメント)	
○同様の内容での継続が適当	

<p>(評価根拠)</p> <p>★目標達成できているため、評価点は3</p> <p>★適正に実施できており、コメントは「継続」</p>	
事業名：地域福祉講演会	評価点：3
<p>(評価コメント)</p> <p>○同様の内容での継続が適当</p>	
<p>(評価根拠)</p> <p>★目標達成しているため、評価点は3</p> <p>★適正に実施できており、コメントは「継続」</p>	
事業名：階層別福祉教育	評価点：3
<p>(評価コメント)</p> <p>○同様の内容での継続が適当</p>	
<p>(評価根拠)</p> <p>★年次計画のとおり実施できているため、評価点は3</p> <p>★適正に実施できており、コメントは「継続」</p>	
事業名：地域における人材育成	評価点：3
<p>(評価コメント)</p> <p>○地域支援事業としての人づくり、地域づくりに積極的なかかわりを</p>	
<p>(評価根拠)</p> <p>★数値目標設定はないが、ふくし教育実践マニュアル策定委員会の中で、人材育成について議論を行っており、階層別福祉教育と併せて進捗したものと捉え、評価点は3</p> <p>★介護保険法改正による「生活支援コーディネーター」や「協議体」の設置との類似性を見出し、社協として人づくり、地域づくりに何らかの役割を担うことが期待されており、コメントにその趣旨を記載</p>	